

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アテクト

コード番号 4241 URL <http://www.atect.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小高 得央

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 副本部長

(氏名) 渡辺 弘之

TEL 072-967-7000

四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	675	3.0	92	50.7	87	129.9	74	57.7
25年3月期第1四半期	655	1.5	61	—	38	—	47	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 89百万円 (228.1%) 25年3月期第1四半期 27百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	18.68	18.67
25年3月期第1四半期	11.84	—

当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,674	1,098	29.6
25年3月期	3,701	1,045	27.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 1,089百万円 25年3月期 1,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の株式分割を行っております。平成25年3月期については当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	2,650	6.0	220	3.2	190	△16.9	150	△28.0	37.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の第2四半期(累計)連結業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	4,207,200 株	25年3月期	4,207,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	206,867 株	25年3月期	206,610 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	4,000,400 株	25年3月期1Q	4,000,590 株

(注)当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の株式分割を行っております。このため、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、経済政策への期待やそれに伴う円安、株高傾向を背景に消費回復の兆しが見られました。一方海外では、欧州市場の低迷が続き、その他の主要地域についても景気の回復、拡大については力強さを欠いた状況が続いています。

当社グループは、2年前より着手した構造変革活動により、前連結会計年度における業績の急回復を実現しましたが、半導体資材事業においては円高時に構築した強固な利益体質が現在の円安局面において奏功し、更なる増益につながりました。衛生検査器材事業においては、直接販売体制によるマーケティング活動の強化、生産変革活動による原価低減活動の更なる推進により、高騰する主原料のコストアップを吸収、利益損失を最少に止める事が可能となりました。PIM（パウダー・インジェクション・モールディング）事業においては、PIM用バインダー（射出成形用助剤）販売の伸長、並びにPIM製品開発強化の為に投資推進等を進めて参りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は675百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益92百万円（前年同期比50.7%増）、経常利益87百万円（前年同期比129.9%増）、四半期純利益74百万円（前年同期比57.7%増）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

① 半導体資材事業

半導体資材事業につきましては、韓国、台湾の2大生産拠点で推進した生産変革活動により、前連結会計年度で実現した強固なコスト力が現在の円安局面により、更なる増益となりました。また、今後は円安メリットを最大限に生かした国内部材調達にも着手し、より一層原価低減に努めます。

販売面では中国において省エネ製品に対する補助金が本年5月末まで実施されたため、中国及び台湾のパネルメーカーが増産したこと、また、韓国パネルメーカーが有機ELディスプレイに経営資源を集中するという経営方針を打ち出し、台湾パネルメーカーからのパネル調達を増やしたこと等が想定を上回る販売数量の伸びに貢献いたしました。

第2四半期連結会計期間以降においては、需給の緩みから調整局面も予想されますが、一方で、スマートフォン及びタブレット向けタッチパネルに、当社製品であるスペーサーテープを使用するチップオンフィルム（COF）のLSI実装技術が従来のテレビ製造向けからタブレット、更には産業用タッチパネル分野で採用が進んでいく動きがあり、需要家の動向を見極めながら、売上高の増加に努めます。

以上の結果、半導体資材事業の売上高は276百万円（前年同期比30.9%増）となり、営業利益は46百万円（前年同期比130.8%増）となりました。

② 衛生検査器材事業

衛生検査器材事業につきましては、新規顧客開拓と最近の受注が途絶えていた顧客からの受注復活を営業伸長の基本としてテレマーケティングを推進した結果、当第1四半期連結累計期間で553件の新規顧客及び復活受注を獲得いたしました。原価面においては、円安の影響による、より一層の原材料費の高騰に対応すべく、現在進めております生産の自動化・IT化による合理化と技術革新によるシャーレ新生産方式という二大投資を着実に実施することで、原材料の価格に左右されない強固な収益基盤を構築して参ります。

以上の結果、衛生検査器材事業の売上高は、384百万円（前年同期比4.1%増）となり、営業利益は38百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

③ PIM（パウダー・インジェクション・モールディング）事業

PIM事業につきましては、当社の独自製品であるバインダー販売に加え、フィードストック（金属やセラミックスの粉末とバインダーを混練した後、射出成形機に投入するためにペレット化したもの）及び、特殊性能、複雑形状のMIM（メタル・インジェクション・モールディング）製品の受注を新たに獲得しました。

今後はCIM（セラミック・インジェクション・モールディング）製法で製造した放熱部品において、電子化が進む自動車分野及びクラウド・ストレージ等IT分野にターゲットを絞り、当社セラミック製ヒートシンクの大きな特徴である、絶縁、熱伝導、熱放射の各特性が、更に高いレベルでバランスした製品の開発を目指して取組んで参ります。

以上の結果、PIM事業の売上高は、20百万円（前年同期比180.1%増）となり、営業利益は7百万円（前年同期は5百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ0.7%減の3,674百万円となりました。

これは、「受取手形及び売掛金」が68百万円、「原材料及び貯蔵品」が15百万円増加する一方、「現金及び預金」が113百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ3.0%減の2,576百万円となりました。

これは、「支払手形及び買掛金」が21百万円増加する一方、「長期借入金」が91百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ5.0%増の1,098百万円となりました。

これは、「利益剰余金」が41百万円、「為替換算調整勘定」が14百万円増加する一方、「新株予約権」が3百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,174,458	1,060,638
受取手形及び売掛金	470,292	538,314
商品及び製品	94,506	59,157
仕掛品	21,856	24,498
原材料及び貯蔵品	70,781	86,128
繰延税金資産	34,302	41,602
その他	27,521	35,297
貸倒引当金	△1,451	△1,502
流動資産合計	1,892,269	1,844,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	571,062	586,182
機械装置及び運搬具(純額)	345,328	345,914
土地	509,974	509,974
建設仮勘定	42,294	51,445
その他	19,211	29,186
有形固定資産合計	1,487,872	1,522,702
無形固定資産		
その他	39,078	51,739
無形固定資産合計	39,078	51,739
投資その他の資産		
投資有価証券	2,330	2,440
繰延税金資産	236,680	223,464
その他	43,152	30,794
貸倒引当金	△267	△313
投資その他の資産合計	281,895	256,385
固定資産合計	1,808,846	1,830,827
資産合計	3,701,115	3,674,961

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	285,707	306,730
短期借入金	384,400	385,700
1年内返済予定の長期借入金	433,069	403,990
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
リース債務	134,027	123,398
未払金	57,687	56,578
未払法人税等	19,541	20,417
賞与引当金	37,389	23,433
設備関係支払手形	19,232	35,693
その他	56,604	91,498
流動負債合計	1,507,661	1,527,439
固定負債		
社債	150,000	150,000
長期借入金	926,727	835,204
リース債務	63,746	56,758
繰延税金負債	167	166
その他	7,130	7,145
固定負債合計	1,147,771	1,049,274
負債合計	2,655,432	2,576,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,645	729,645
資本剰余金	649,645	649,645
利益剰余金	△194,742	△153,372
自己株式	△99,429	△99,515
株主資本合計	1,085,118	1,126,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	646	717
為替換算調整勘定	△52,172	△37,893
その他の包括利益累計額合計	△51,526	△37,176
新株予約権	12,090	9,022
純資産合計	1,045,683	1,098,247
負債純資産合計	3,701,115	3,674,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	655,537	675,064
売上原価	360,443	354,129
売上総利益	295,093	320,935
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	61,399	50,629
賞与引当金繰入額	11,709	15,434
貸倒引当金繰入額	144	50
その他	160,210	161,966
販売費及び一般管理費合計	233,464	228,080
営業利益	61,629	92,854
営業外収益		
受取利息	563	489
為替差益	—	11,527
受取賃貸料	1,437	1,437
助成金収入	560	—
その他	584	1,021
営業外収益合計	3,145	14,476
営業外費用		
支払利息	8,388	7,640
社債利息	1,640	575
減価償却費	2,844	4,331
為替差損	11,075	—
産業廃棄物処理費	—	5,200
その他	2,810	2,191
営業外費用合計	26,759	19,939
経常利益	38,015	87,391
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3,068
固定資産売却益	1,266	1,139
関係会社株式売却益	9,090	—
特別利益合計	10,357	4,207
特別損失		
固定資産除却損	182	2,705
その他	86	—
特別損失合計	268	2,705
税金等調整前四半期純利益	48,105	88,893
法人税、住民税及び事業税	2,761	8,280
法人税等調整額	△2,039	5,905
法人税等合計	721	14,185
少数株主損益調整前四半期純利益	47,383	74,707
四半期純利益	47,383	74,707

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	47,383	74,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	70
為替換算調整勘定	△20,294	14,278
その他の包括利益合計	△20,243	14,349
四半期包括利益	27,140	89,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,140	89,057
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。